

プログラム名 (40字以内)	工学系日本語教室でのボランティア		
団体名/所属	工学系研究科 国際教育部門 日本語教室		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動:国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	20人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	当教室は工学系日本語教室ですが、工学部、工学系以外の専攻からの応募も歓迎します。		
活動期間	2024/10/9(水)～ 2025/1/29(水)1コマ/週 *ご都合のつく曜日の1限または2限(A2の火曜日は3限・4限、木曜日は3限も授業があります)	主な活動予定場所	本郷キャンパス 大学院工学系研究科(工学部8号館)*5号館の場合もあります。
プログラム実施の目的	留学生対象の日本語授業における学習支援や活動への参加などを通して、多様な言語、文化、社会的背景を持つ留学生との国際交流と相互理解関係構築を促進し、日本人参加学生一人一人の内なる国際化の機会を提供する。		
具体的な内容(800字程度)	<p>【日本語授業ボランティアの内容】 日本語教室では、留学生・外国人研究員などを対象に、1) 研究・生活支援としての日本語教育、2) 日本文化事情教育、3) 交流・親睦のための多言語・多文化支援、4) 国際化推進の一環として、留学生と日本人学生との交流を行っています。日本語授業ボランティアでは、同じキャンパスにいてもなかなか出会うことができない約60カ国、430名の留学生(2023A1A2統計)に実際に会い、話し、友達になる機会があります。そして、多様な言語、社会、文化的な背景を持つ留学生との交流を通して、自分とは異なるもの見方・考え方を知り、日本語のおもしろさ・難しさに触れることができます。さらに、留学生とともに日本の伝統文化に触れ、日本文化を外からの視点で見つめることで、新たな発見があるでしょう。工学系日本語教室では、学生のみならずこういった経験を通して視野を広げることで、異なる他者と向き合い、尊重しあう姿勢(国際的感覚)が身につくのではないかと考えています。日本語を外国語・第二言語として学ぶプロセスや国際交流、異文化コミュニケーションに関心のある方、あるいは将来留学を検討している方、留学生と一緒に学びあう体験をしてみませんか。</p> <p>【具体的な活動】 ①授業に参加し、ひらがなから学ぶ初級レベル、日常生活の日本語をマスターした中級レベル、アカデミックな日本語を中心に学ぶ上級レベルなど、様々なレベルの授業で留学生の日本語学習のサポートをする。 例) グループワークや会話パートナー、ディスカッションのメンバー、留学生のプレゼンテーションの聞き手、コメンテーター なお、活動期間中は週1コマ(可能であれば2コマ)の授業への参加をお願いしたい。 ②イベントへの参加: 書道、茶道など伝統的な文化体験のサポート(参加希望・参加可能な場合) ③授業科目の詳細は、ホームページの時間割・概要をご参照ください。 2024年8月上旬掲載予定 https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp</p>		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	本郷キャンパスまでの交通費		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし * 授業ボランティアとして入っていただくコースが教科書を使用している場合は、当教室から貸与いたします。		
奨励金額(予定)	0円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/ie/activities/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		